

# 令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎柔道整復学3							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	1年	後期	原田 光就		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	基礎柔道整復学			座学	2	21	
科目概要							
柔道整復の基礎知識を身に付ける科目です。損傷における評価、判断、治療法等(外傷保存療法の経過及び治癒の判定を含む。)について理解し、説明できるようにします。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標	この科目の目標は、治療法や外傷予防の原理原則を理解したうえで記憶し、柔道整復理論をはじめ、整復技術や様々な疾患・損傷を学ぶ際に、より正しく深く理解することにあります。						
<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、学習的な指標(合格基準)	<b>【治療法】</b> ・整復法について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・固定法について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・後療法(手技療法、運動療法、物理療法)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・指導管理について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 <b>【外傷予防】</b> ・第一段階(運動機能向上と教育活動、特異的予防)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・第二段階(早期発見、早期治療)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・第三段階について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。						
履修に必要な予備知識や技能							
損傷を理解するのに解剖学、特に骨学・筋・靭帯学になるためプリントで補足しながら授業を行う。							
教科書・参考書							
柔道整復学・理論編 改訂6版							
受講上の注意							
私語は慎み、スマートフォン等の電源を切るか、マナーモードにしておく事。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (クイズ/テスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	60	40					100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	治療法 徒手整復実施時の配慮 骨折の整復法(合併症の確認)				p91-p93	教科書・筆記用具	
第2回	治療法 骨折の整復法つづき 脱臼の整復法(整復法の種類、				p94-p96	教科書・筆記用具	
第3回	治療法 軟部組織の初期処置 RICEを理解し、初期処置の要点を				p96-p98	教科書・筆記用具	
第4回	固定法 固定施術時の配慮(固定施行時の配慮、目的、種類と				p98-p100	教科書・筆記用具	
第5回	固定法 固定後の配慮(全身や局所、肢位の保持を覚える)				p100-p103	教科書・筆記用具	
第6回	固定法 固定後の配慮 第1回～第6回までのまとめ				p103-p105	教科書・筆記用具	
第7回	小テスト 振り返り				p91-p105	教科書・筆記用具	
第8回	後療法 手技(様々な手技療法を覚える)				p105-p108	教科書・筆記用具	
第9回	後療法 運動療法(様々な運動療法を覚える)				p108-p112	教科書・筆記用具	
第10回	後療法 電気療法(低周波、干渉波療法を覚える)				p113-p117	教科書・筆記用具	
第11回	後療法 温熱、超音波(様々な温熱療法や超音波療法を覚える)				p118-p125	教科書・筆記用具	
第12回	後療法 光線、寒冷(光線療法や様々な寒冷療法を覚える)				p126-p131	教科書・筆記用具	
第13回	後療法 牽引、その他(牽引療法、間欠的圧迫療法を覚える)				p131-p135	教科書・筆記用具	
第14回	小テスト 振り返り				p105-p135	教科書・筆記用具	
第15回	指導管理 日常動作、環境の指導管理(姿勢や衣服の脱着、自				p135-p139	教科書・筆記用具	
第16回	指導管理 自宅環境に対する指導管理(通勤、通学や就労時の				p139-p140	教科書・筆記用具	
第17回	外傷予防 第1段階(ポピュレーションアプローチの内容と身体の				p141-p145	教科書・筆記用具	
第18回	外傷予防 第1段階つづき(環境要因の評価を行えるようにする				p145-p149	教科書・筆記用具	
第19回	外傷予防 第2段階、第3段階(概要を理解する)				p149	教科書・筆記用具	
第20回	定期試験					筆記用具	
第21回	定期試験 解説					教科書・筆記用具	
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院、救急指定医療機関に勤務、また開業時の実務経験をともに治療法、固定法、後療法、外傷予防について話をします。							
メールアドレス							
harada-t@nihonisen.ac.jp							